

4がっのくもの子の会だよ

<4.26.4.4>

平成26年度のスタートです。

最近、小さな森のこも園の子ども達と親御さんたちを中心に、活動している感じですが、口伝えて、どこからか、どこに何か来たか、こを待って今年度もついでついでと思っております。

くもの子会も応援して下さっている方も、参加していただく方も、今年度もよろしくおねがいします。

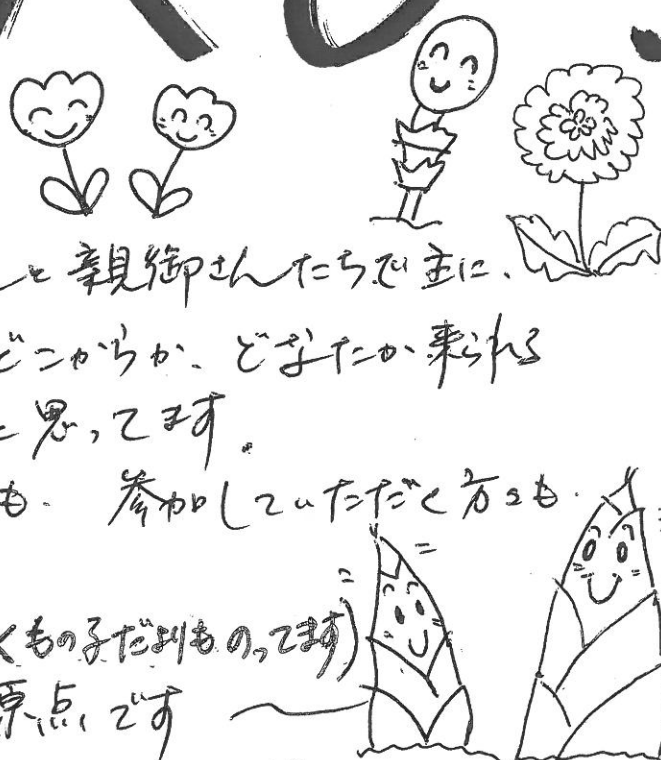
(※ホームページを開きました。くもの子だよのもの、です)

〜 家庭は子どもの心をつくる原点です

家庭、それは本来、誰にとっても心のふるさとであり、帰っていきたくやぶささる場所です。家庭は、人の心の原点を形づくることと、それ以降の成長を支える場所でもあります。特に子どもにとって、家庭は、初めて自分以外の人と出会い、集団で暮らす場所となり、そこで学ぶことの大切さは、その後の子どもの人生にとって計り知れないほど大きいものです。

— 穏やかな家庭が人と関わり力を伸ばす —

子どもは愛情をこめて世話されることで、自分は大切にされ愛される存在だと心持よく自尊心を得て、世話をしてくれる人に対し、愛情と信頼感を持つようになります。この愛情や信頼感とは、これから出会う人々に対しても同じように働くので、多くの人と



良好な関係を築きやすくなります。また家庭は、子どもにとって心身の安全基地。心が揺れ動いたときやつらいときに戻れば癒され、外の世界に出て行く意欲を回復できます。家庭がやぶささる場所であるという事は、家庭を超えて、子どもが力のない世界で他者と関わりながら、自己の力を発揮していくことを支えるのです。

ただ現代はストレスに満ちていて、大人も悩んだり、行き詰まったりする時代です。親なら誰でも子どもは可愛く、愛しい存在ですが、様々な原因で家庭本来の機能を壊してしまったり、あるいは、雰囲気悪化させてしまったりすることがあります。

〜 子育てで家庭が担う3つの役割

(子どもが出会う最初で最小の社会、それが家庭です。家庭には子どもの成長を促す、大切な役割があります)

- ① 安心、安全な居場所
家庭の役割の中で最も基本的なものは、子どもの健康を願って、3度の食事を用意し、着るものを着せ、安心して眠れる安全な場所を提供することです。これらは、人間が生きるための基本的な欲求で、家庭はこの欲求を満たす第一の場となります。

(つづきは、5月のくもの子だよ)